

楽

ふるさと

白楽荘在宅サービスセンターだより

平成25年4月25日 発行

白楽荘在宅サービスセンター

TEL 042-376-2942

<http://www.rakuyukai.com/>

個別機能訓練のご紹介

新緑がまぶしい季節となりました。新年度を迎え、今回から、広報誌「ふるさと」は一般型デイサービス、認知症型デイサービス、いきがいデイサービス毎の発行へリニューアルいたしました。一般型デイサービス版第1号は、加算項目の「個別機能訓練加算」についてご紹介いたします。

個別機能訓練加算は、生活機能の維持向上を目的としたリハビリの提供をしております。具体的には、身体機能そのものの回復（麻痺や拘縮の改善等）を目的とする訓練ではなく、残存する身体機能を活用して、生活機能の維持・向上を図り、その機能を日常生活に生かし、在宅生活を継続することを目的としております。今回は、白楽荘在宅サービスセンターで行っているメニューの一部をご紹介いたします。



- ・トイレへ自力で行く力を維持する → 椅子からの立ち上がり訓練 など
- ・バスに乗り、買い物へ行くことができるようになる → (実際のバスを使用した) バスの乗降訓練を実施する など
- ・日課だったの散歩を継続することができるようになる → 公園内の歩行訓練 など
- ・自宅での転倒を防ぐようにする → 平行棒内に置いてある障害物をまたぐ訓練 など

その他にも、各ご利用者やご家族の希望に沿って、多種多様なメニューを行っており、メニューによっては、定期的に外出活動も行っております。

個別機能訓練加算は、おおよそ1週間に1回、専属の機能訓練指導員（看護職員）がご利用者に対して、直接実施しております。なお、個別機能訓練は、基本のご利用料に50単位（約53円）を追加して行っております。

詳しくは、生活相談員、または、ご担当の介護支援専門員（ケアマネジャー）へお尋ねください。

よりよい白楽荘を目指して！ 平成25年度の白楽荘デイサービス

平成25年度、白楽荘在宅サービスセンターは下記の目標を策定いたしました。

- (1) 事故防止に努め安心安全のサービス提供を目指す
 - ・日頃のコミュニケーションやバイタルチェック、食事・入浴・排泄時等に心身状態の観察を行い、変化を見逃さないようにする。
 - ・添乗職員は車両への乗降の際、ご家族や送迎ヘルパーとコミュニケーションを綿密にして、当日のご利用者の状態を把握する。
- (2) 感染症予防等安全対策の徹底を目指す
 - ・排泄物や嘔吐の処理方法を内部研修や資料をもとに全職員間に徹底する。
 - ・疥癬発症時の対応について、デイサービス独自のマニュアルを作成する。
- (3) 接遇の向上を目指す
 - ・サービスマナーについて担当職員を設け全職員のマナー向上をはかる。
 - ・そのための担当職員が中心となり、研修の企画をする。
- (4) ご利用者の自立を目標とした介護の実施
 - ・職員への通所介護計画の周知がはかれるよう計画書を回覧し、周知徹底をはかる。
 - ・個別機能訓練について、ご本人やご家族の意向やご希望把握した上で、より機能維持や向上に向けたより良いサービスの提供を行う。

5月の白楽荘デイサービス見学会

下記の日程で実施いたします。皆様のご参加をお待ちしております。
日時…平成25年5月3日（金） 13時30分から16時00分まで

編集後記

今回の「ふるさと」はいかがでしたか？

さて、新年度を迎え、街には、着慣れていない制服姿の新社会人や学生が多くなりました。その姿を見て、私自身の8年前を思い出します。白楽荘入職初日、季節外れの大雪に見舞われ、モノレールが30キロ制限となり、高幡不動から多摩センターまで約45分もかかりました。その間、車内は大混雑です。あれから8年、ここまで仕事を続けられたことも皆様のご指導と叱咤激励のおかげだと思っております。

新しい職員に負けないよう、私自身も努力したいと思っております。平成25年度の白楽荘デイサービスをよろしく願いたします。（相談員 高田寛行）